

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1215		
科目名	自主創造の基礎 1		
担当教員	上野山 晃弘		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	金 2		
講義室	1203	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	リテラシー		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP2-A [日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢] 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP2-B [自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢] 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 DP4-F [探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A2（10%） 異文化適応 B1（30%） 自己啓発 C1（5%） 倫理的思考・社会認識 F1（10%） 探求と論拠 H1・H2（10%） 倫理的思考・批判的思考 K1・K2（30%） ライティングコミュニケーション・オーラルコミュニケーション M1（5%） 統合的・応用的学修		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 2. 進期期 ～ 3. 発展期		
科目概要・キーワード	日本大学において全学的に導入した初年次教育科目です。本学の教育理念・目的である「自主創造」の形成のための基礎的教育科目であり、本学が目指す卓越した創造力・判断力・コミュニケーション力を持つ人間力豊かな、自主創造型パーソンを育成するための科目です。本講義では、学びにおける自主性を養い、主体的かつ積極的に学ぶ姿勢を身に付けることを目標としています。まず日本大学について学び、そこで学ぶことの意味を知り、大学で学ぶ姿勢を身に付けるために、レポートの作成の方法、グループワーク、プレゼンテーションについて学び、実践することで主体的に学ぶ姿勢を身に付けます。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業を取り入れる場合があります。 ■ キーワード: 自主創造・アカデミックスキル・コミュニケーション・自校教育		
授業の趣旨	■ 副題 大学で学ぶためのスキルとマインドを獲得します ■ 授業の目的 本授業では、日本大学で学ぶにあたり、大学入学時までの受動的な学習からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修ができることを目的としています。危機管理学部においては、「危機管理パーソン」を涵養するために必要となるスキル（文献収集の方法、文章や報告のまとめ方）、態度（自己と他者の理解）と能動的学修のために必要となるマインド（日本大学精神・将来のキャリアへの理解）の獲得を目的としています。 ■ 授業のポイント 大学で学ぶことはどういうことなのか、その意義を理解し、大学生として自ら学ぶマインドを醸成します。また、本学部では自主創造型パーソンを「危機管理パーソン」ととらえて、危機管理で学ぶために必要となるスキルを獲得して、大学での豊かな学びを出来るための基礎的な力を養成することを目的として授業を行います。		
総合到達目標	■ 自主創造3つの構成要素「自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく」力を養うために、日本大学の成り立ちを知り、大学への帰属意識や社会貢献意識を養いながら、多様な価値観をもつ他者との触れ合いの大切さを理解し、グループワークを通じた協働により、コミュニケーション力の向上を修得することや、危機管理に関わる諸問題や課題を発見し、それに対する多面的な情報収集・分析を通して、解決していくことのできる基礎的能力を身に付ける。 SBO1: 日本大学危機管理学部で学ぶ意義・将来のキャリアについて理解し、説明することができる SBO2: 自分の考えを人に論理的・批判的に伝えることができる SBO3: 他者の考え方を理解できるようになる SBO4: 授業での課題を理解し、グループでの課題解決策について討議することができる SBO5: 授業で与えられた課題に対して、新しいことに挑戦する気持ちで臨むことができる SBO6: 自分の学修経験、自己評価及び他者からの評価をもとに振り返りを行うことができる SBO7: 大学で学ぶための必要なスキルを身につけることができる（調べる、情報を収集する、まとめる、報告する）		
成績評価方法	■ 授業参加度15回（80%） 適用ルーブリック: A2(10%)、B1(30%)、C1(5%)、F1(10%)、H1・H2(10%)、K1・K2(30%)、M1(5%)（評価の観点） 授業参加度の個別の指標となる学修ポートフォリオとキャリアシート、毎授業の振り返りシート13回、グループワークへの参加・貢献度、個人面談参加度についてはそれぞれ、評価基準用のルーブリックに基づき評価します。 （フィードバックの方法） 各提出物については次回授業時に全体講評を行うとともに、個人面談時に個別にフィードバックを行います。 ■ プレゼンテーション成果1回（20%） 適用ルーブリック: A2(10%)、B1(30%)、C1(5%)、F1(10%)、H1・H2(10%)、K1・K2(30%)、M1(5%)（評価の観点） プレゼンテーションの内容と形式について、PPTに関するルーブリックに基づき評価します。 （フィードバックの方法） 報告会を実施し、その際に教員による講評を行うことで、フィードバックを行います。 ただし、本科目の評価はGPAには算入されません。		

履修条件	必修のため、特にありません。	
履修上の注意点	少人数の演習科目のため、毎回出席して積極的に授業参加することが求められます。遅刻・欠席はグループ学修などの授業進行や他の受講生の学修の妨げにもなりますので慎むとともに、やむを得ず遅刻・欠席する場合は必ず事前に担当教員に連絡するようにしてください。連絡方法など詳細は初回ガイダンスで説明があります。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 自主創造の基礎1のスタートアップ(1) ②授業概要 日本大学危機管理学部で学ぶ意義について、自分の将来のキャリアとの関連から説明できる (B1、C1、K1、M1)。また、当科目で学修するアカデミックスキルとその意義について説明できる(B1、F1、H1、K1)。 ③予習(120分) 教科書をダウンロードして全体を一読する。また、当科目も含めて前期履修科目(予定含む)のシラバスを精読し、各科目で自分が何を修得したいかについて考えをまとめる。 ④復習(120分) 授業で作成した「キャリアデザインシート」と「学修ポートフォリオ」の内容を見直し、学修計画全体として整合性についても確認し、適宜修正する。また、この学修計画に沿って各履修科目で自分が何を学ぶべきかについて明確にした上で各科目のシラバスやガイダンス内容を再度確認する。
	2	①授業テーマ 自主創造の基礎1のスタートアップ(2) ②授業概要 初対面の相手に自分のことを知ってもらうための的確な自己開示を行うことができる(B1、K2)。また、相手の発言を傾聴し、その内容を理解して相手と円滑な言語・非言語コミュニケーションを継続することができる(A2、B1、C1、K2、M1)。 ③予習(120分) 自己紹介シートの項目に沿って、自己紹介内容をメモしてくる。また、Zoomを用いた授業に参加できるよう端末・アプリ・ネットワークの準備を行うとともに、Zoomの基本的な操作を行えるようにしてくる。 ④復習(120分) 自己紹介・他己紹介を行ってみて気づいたことや改善できる点を整理し、自己紹介内容を推敲する(第04回授業で使用予定)。
	3	①授業テーマ ノートテイキング ②授業概要 講義での学びを効果的・効率的に進めるためにノートテイキングが重要であることについて説明できる (F1、H1、K1)。また、自分と他者のノート比較等を通じて、「良いノートを作る方法」についての自分の考えを述べるができる (A2、B1、K1、M1)。 ③予習(120分) 教科書P.33-35を読み、重要と思う点をノートにまとめる。また、高校時代のノートと大学入学後の各科目のノートを見直し、高校と大学の授業ノートの差異や、自分のノートテイキングの工夫についてノートにメモしてくる。 ④復習(120分) 授業内容に基づいてノートテイキングの目的と留意点について再度整理し、今後のノートテイキングにどう反映するか具体的な方略をまとめる。
	4	①授業テーマ 危機管理学部ワールドカフェ ②授業概要 自主創造の基礎1履修者同士でクラスを横断して交流し、グループでの意見交換を通じて、他者の意見を傾聴するとともに、自分の情報を相手に伝えることができるようになる (A2、K2)。また、交流を通じて得た情報や経験が自分自身の今後の学修に及ぼす影響について省察することができる (B1、M1)。 ③予習(120分) 教科書P.40-41を読む。教員等からの指示に沿って事前準備(事前説明動画の視聴、自己紹介やワークの準備)を行う。 ④復習(120分) ワールドカフェでの意見交換・情報共有内容をまとめなおし、当学部で自分が学修する意義を検討する。
	5	①授業テーマ 日本大学を知る ②授業概要 日本大学の沿革や学祖、特色ある交友の人物像を知ることを通じて、自分が日本大学で学ぶこと・危機管理学部で学ぶことの意義を説明することができる (B1、C1、K1)。また、調査や学生同士での意見交換等を通じて、自校史を学ぶことの意義について説明することができる (F1、H1、H2、K2、M1)。 ③予習(120分) 教科書P.22-23を読む。日本大学の沿革に関する動画を視聴し、内容をまとめてノートにメモしてくる。 ④復習(120分) 授業ノートを仕上げるとともに、授業を通じて知っておくことが自分の役に立つと思う自校史の内容について調べる。
	6	①授業テーマ サイコロジカルファーストエイド(PFA)の基礎 ②授業概要 危機管理に関わる専門的コミュニケーション技法としてのPFAの概要と留意点について説明することができる (C1、M1、K1)。また、PFAを通じて他者とのコミュニケーションにおける非言語情報の重要性に気づくことができる(A2、B1、K2)。 ③予習(120分) 事前に提示されたPFAに関する資料を読み、重要と思う点をノートにまとめる。 ④復習(120分) 授業ノートを仕上げるとともに、授業で案内されたPFAマニュアルをダウンロードして読み、重要と思う点をノートにまとめる。
	7	①授業テーマ 学修状況の中間評価 ②授業概要 「学修ポートフォリオ」に基づいて1年生前期の学修状況について自己評価を行う(B1、F1、K1)。担任との個人面談を通じて自分の学修状況を他者に伝えるとともに、他者からの意見も踏まえて今後の学修計画を再検討することができる(A2、B1、K2、M1)。なお、ここまでのSDシート等の提出物について、教員が個別にフィードバックを行います。 ③予習(120分) 自分の「キャリアデザインシート」と「学修ポートフォリオ」を見直し、各項目に対する現状の到達度とその根拠をノートにメモしてくる。 ④復習(120分) 個人面談で出た意見やコメントとそれに対する自身の対応を「学修ポートフォリオ」に加筆する。各履修科目について残りの授業回の中でどのような学修を進めるか目標と計画を整理し直す。
	8	①授業テーマ 図書館資料検索 ②授業概要 学術資料を収集する方法の1つとしての図書館の役割について説明することができる (H1、K1)。また、図書館の蔵書検索を用いて資料を検索し、必要な資料を借りることができる (B1、H1、K1)。 ③予習(120分) 教科書P.44-45を読み、重要と思う点をノートにまとめる。三軒茶屋キャンパス図書館の利用案内を一読するとともに、事前に一度入館して設備や書架を見学し、気づいたことを書きだす(図書館利用に際しては利用ルール・マナーを守るとともに、混雑を避けるためグループでは行かないよう注意してください)。 ④復習(120分) 授業ノートを仕上げるとともに、図書館を再訪して資料を返却し、再度資料の検索や借覧を行う。
	9	①授業テーマ インターネット検索 ②授業概要 インターネット資料の信頼性に関する留意点について説明することができる (H1、K1)。また、レポートの形式に沿ってインターネット資料を参考文献として記載することができる(B1、H1、K1)。 ③予習(120分) 教科書P36-37を読み、重要と思う点をノートにまとめる。インターネット情報の信頼性に関する自分の意見をメモしてくる。 ④復習(120分) 授業ノートを仕上げるとともに、危機管理に関して今後自分が研究してみたいテーマについてインターネットで情報を検索し、役に立つと思う部分をノートにメモする。そして、その資料をレポートの形式に沿って参考文献リストに記入する。
	10	①授業テーマ レポート(1) ②授業概要 大学における「レポート」の役割と、要求される水準や留意点について説明することができる(H1、H2、K1)。 ③予習(120分) 教科書P36-37を読み、重要と思う点をノートにまとめる。履修科目のシラバスや授業内容を調べて自分が今学期に作成するレポート課題の内容と形式について確認する。 ④復習(120分) 授業ノートを仕上げるとともに、図書館やインターネット等通じてレポート作成に関する資料を幾つか入手して読み比べ、重要と思う点をノートにまとめる。
	11	①授業テーマ レポート(2) ②授業概要 レポートを作成する上では、形式を遵守すること、先行研究を調べて適切に引用・参照することが重要であることについて説明することができる(C1、H1、H2、K1)。また、指定された形式の通りに参考文献リストを作成することができる(A2、K1)。 ③予習(120分) インターネット検索により、大学等の研究機関において「剽窃」(ひょうせつ) やその他の論文不正行為に対してどの

	ような対処を行っているかを確認し、重要と思う点をノートにまとめる。 ④復習(120分) 授業ノートを仕上げるとともに、学部ホームページから研究紀要「危機管理学研究」にアクセスし、自分が興味のある論文について形式や参照・引用の仕方に留意しながら読む(各号の末尾に執筆要領が掲載されている)。
12	①授業テーマ プレゼンテーション(1) ②授業概要 大学における「プレゼンテーション」の役割と、作成手順や形式的な要件、留意点等について説明できる(A2、F1、H1、H2、K1・K2)。また、学生同士のグループでプレゼンテーションのテーマを決め、資料収集を行うことができる(A2、F1、K2、M1)。 ③予習(120分) 教科書P.38-39、42-43を読み、重要と思う点をノートにまとめる。良いプレゼンテーションの参考になりそうな動画をインターネットで検索し、視聴する。 ④復習(120分) グループで情報を共有し、グループ全体の進捗状況を把握するとともに、次回までに各自が行う作業について全員で合意する。そして、自分の担当作業にを期限までに遂行する。
13	①授業テーマ プレゼンテーション(2) ②授業概要 ロジカルシンキングについて学び、プレゼンテーションの内容についてグループで議論し、内容と構成をまとめる(A2、F1、H1、H2、K1、K2、M1)。 ③予習(120分) 本日のグループ作業に必要な資料収集やその他の準備を各自で行う。必要に応じてグループで打合せを行う。 ④復習(120分) グループ内で合意した内容・構成と作業分担に従って、グループとしてのプレゼンテーションのプロダクトを協働して完成させる。
14	①授業テーマ プレゼンテーション(3) ②授業概要 プレゼンテーション(発表)を通じて、自分たちが調べ、考えた内容を聴講者に的確に伝達できるようになる。また、他グループの発表を聴講し、プレゼンテーションにおける言語・非言語コミュニケーションの役割について考察することができる。なお、各グループのプレゼンテーションについては、教員が講評を行い授業中にフィードバックします。 ③予習(120分) グループで発表のリハーサルを複数回実施するとともに、予想される質問とそれに対する回答をリストにまとめる。 ④復習(120分) プレゼンテーションを振り返り、よくできた点、改善できる点、質疑コメント等を各自整理するとともにグループで共有する。
15	①授業テーマ 授業総括 ②授業概要 当科目での学習内容や自己の到達度を説明できるようになるとともに、自身のアカデミックスキルに関する気づきや成長について具体例を挙げながら説明することができる(B1、K2、M1)。なお、ここまでのSDシート等の提出物について、教員が全体講評によりフィードバックを行います。 ③予習(120分) 当科目の授業資料やノートを再度全体的に読み直し、科目を通じて自分が修得した知識・技能・態度について説明できるよう準備する。また、到達度が充分でないと感じる部分がある場合は、再度教科書や授業資料をまとめ直し、不明な点を質問できるようにする。 ④復習(120分) 授業総括および提出物のフィードバック等を振り返り、到達度に関する自分の考えを再検証する。また「学修ポートフォリオ」に基づいて当科目や他の履修科目の学修を評価する。
関連科目	自主創造の基礎 2(RMGT 1216)
教科書	『ミライヨツクル Learning Guide』(日本大学FD推進センター, 2020) https://www.nihon-u.ac.jp/fd-center/fdguidebook/learningguide/
参考書・参考URL	各授業回にて必要に応じて案内します。
連絡先・オフィスアワー	開講時に案内します。
研究比率	－

